

科名 泌尿器科 泌-2(2)
 対象疾患名 尿路上皮がん
 プロトコール名 GC療法(day8,15)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	8	...	15	...	28
1	点滴注	メイン	生理食塩液	250mL	ルートキープ	↓		↓		
2	点滴注	側管	デキサート注 生理食塩液	13.2mg 50mL	30分かけて	↓		↓		
3	点滴注	側管	ジェムザール 5%ブドウ糖	1000mg/m ² 100mL	必ず30分で	↓		↓		

★1クール=28日

～MEMO～

- ・催吐レベル2(30～10%)
- ・泌尿2(1)から続く(day8-28)

<ゲムシタビン>

ゲムシタビンは必ず30分で投与(副作用増強防止のため)

禁忌:間質性肺炎、肺線維症のある患者、胸部への放射線療法との併用

血管痛の対処方法:

- ①静脈炎・血管痛を予防するために以下のことを考慮し、点滴の針を刺す。
 - ・血流の良い太い血管をできるだけ使用する。
 - ・毎回、できるだけ穿刺部位を変える。
 - ・長く留置していた静脈、過去に静脈炎を起こした血管は避ける。
- ②点滴中は、以下のことを考慮し、投与する。
 - ・点滴の入っている腕を予め加温し、血管を温めて広げ、血流を良くする。
 - ・メインの生理食塩水の投与量を増やし、より希釈しながら投与する。